

コイノニア



1年生のみなさんは、少しずつ学校に慣れてきたのではないのでしょうか？2年生のみなさんは、後輩と学校生活を送る中で、先輩としての自覚が出てきたと思います。3年生のみなさんは、進路実現のための具体的な取り組みが始まりましたね。それぞれ自分の将来に向けて一生懸命に取り組んでいることと思います。

さて、6月は「御言葉に生きる」という礼拝テーマが設定されていますが、「御言葉」というのは神さまの言葉、または聖句(聖書の言葉)を指しています。そういうわけで6月は特に有名な聖句をいろいろ取り上げました。毎朝の礼拝で司会者が読んでくれる聖句に耳を傾け、ぜひ、みなさんに覚えてもらいたと思っています。

そして6月の月間聖句は本校創立者コーネリア・ジャジソン宣教師が愛した聖句です。

「受けるよりは与える方が幸いである」(使徒言行録20章35節)

特に「花の日礼拝」では、みなさんにお花や献金の協力をお願いしています。お花は本校福祉科の生徒たちが実習でお世話になっている福祉施設にお届けします。色とりどりの美しい花束を持って行くと、大変喜ばれます。また献金は、本校が10年以上続けている東日本大震災の被災地支援をはじめ、世界中で助けを必要としている人々のために用います。私たちが献金することを通して、困っている人々との出会い、友だちになり、「受けるよりは与える方が幸いである」という聖句を実現させることができるようにと願っています。私たちが世界中の人々と助け合い、みんなが平和に暮らせる世の中を作ることができるように、少しでも心を遠くに向けてみませんか？



6月の予定

月間聖句 「受けるよりは与える方が幸いである」(使徒言行録20:35)

月間テーマ 「御言葉に生きる」

8日(水)～ 宗教教育強調週間

10日(金) 本校が教会によって建てられたことを深く理解すると共に、地域の諸教会との関わりを大切にするための礼拝です。

10日(金) 花の日礼拝

自然の中にあふれている神の恵みに感謝する礼拝です。お花を持ってきてください。献げたお花は放課後に福祉施設や病院にお届けします。

～特集～ 家族の日礼拝2022 「家族への思い」

【優秀賞・川柳の部】

同じこと 言われキレつつ 感謝する
アラームの 最後の音は 母の声
照れ隠し ボサッとつぶやく 美味かった

菊池 春菜さん(1-2)
金子 虎鉄くん(1-E)
長坂 拓海くん(1-E)

【優秀賞・三行詩の部】

僕が高校生になり忙しそうな母
日々、仕事でやつれて帰ってくる父
今日の夕飯は、僕の作ったスパイスカレー
河野 建蔵くん(1-1)

私の言葉で怒らせちゃうけど
本当は思ってる
「世界一の両親」だって
宇都宮 史佳さん(1-6)

祖母が聞く
無理してないの？と
こっちが聞きたい。
森木 大地くん(1-1)

なんでかな
冷めてるようで
温かい弁当
池川 倅太郎くん(1-F)

廃車にした車
免許返した祖父の車
いつも助手席に乗せてくれた車
永井 颯くん(1-2)

「がんばれ」じゃなくて
「がんばった」をくれる
優しい祖母
石垣 呂唯くん(1-F)

「ありがとう」と言ってみた
ポカーンとしたあと吹き出された
もう二度というもんか！でもありがとう
川上 すすさん(1-5)

今年もステキな作品
が集まりました。1年生
のみなさん、ありがとう
ございました。



☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆

SDGsによる出会い

先月行われた人権・同和教育講演会では、「コロナ禍・紛争の時代・SDGsを踏まえ 今、何を考え、どう生きるか - JOCSの働きを覚えて - 」という題で、元JOCSバンングラデシュ派遣ワーカーの宮川真一先生(医療法人鷺友会牧病院・医師)にお話ししていただきました。「私たちの近くに、今そこにある個や自分の周りに目を向け自分ができる何かを働きかけること」が、SDGsの目標達成につながり、みんなで「誰一人取り残さない」生き方ができるよう考えることができました。

生徒を代表してお礼の言葉を伝えた宗教委員会副委員長の行本理人くん(3-3)→

